

対話文読解 No.1(環境委員会の作戦)

L2 発展

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L2(自校作成・大阪C問題レベル＝設問も英語)

目標時間:20分

満点:100点(自己採点)

Read the dialogue and answer the questions. ※設問も英語です。環境委員のリン(Rin)とダイキ(Daiki)、森先生(Ms. Mori)の会話です。(①)～(④)は設問で選びます。

Ms. Mori: So, the environment committee checked the trash boxes in every classroom last week. What did you find?

Rin: Something surprising. About forty percent of the trash was paper that we can recycle — worksheets, flyers, and notebooks.

Daiki: We have a recycling box in each classroom, but many students don't use it. They just throw everything into the same box.

Ms. Mori: Why do you think they don't use it?

Daiki: At first, I thought they didn't care about the environment.(①)Most of them said, "Sorting is difficult. I don't know which box is right."

Rin: So the problem is not their hearts. It's the system. If sorting is hard, people won't do it, even when they want to.

Ms. Mori: That's an important discovery. Then, how can we make sorting easier?

Rin: I have an idea. Now, the two boxes look almost the same. Let's put big pictures on them — a bottle picture, a paper picture. You can understand them(②).

Daiki: Good. And the place is also a problem. The recycling box stands in the corner, far from the door. People throw trash when they leave the room, so the box near the door gets everything.

Rin: I see!(③)Then students can sort without walking extra steps.

Daiki: Exactly. Easy actions continue; hard actions don't.

Ms. Mori: You two are thinking like scientists. Do you need anything from the teachers?

Rin: Yes. We want three minutes in the morning meeting to explain the new boxes. If everyone knows the(④), the system will work from day one.

Ms. Mori: All right, I'll ask the other teachers. When can you get the boxes ready?

Daiki: By Friday. We'll check the boxes again two weeks after that, and report how the numbers change.

Ms. Mori: Perfect. If the paper trash really becomes smaller, your idea may spread to other schools, too.

Rin: Then our classroom will be the first laboratory. I can't wait to see the next numbers.

[注] environment committee 環境委員会 / recycle リサイクルする / flyer ちらし / sort 分別する / corner すみ / extra 余分な / laboratory 実験室

対話文読解 No.1(環境委員会の作戦) **L2 発展**

設問 本文の内容について、最も適切なものをア～エから1つずつ選ぼう。

問1(15点) Which is the best sentence to put in(①)? ア And I was right about that. イ So I stopped asking them. ウ But when I asked some students, the reason was different. エ Because nobody answered my question.	()
問2(15点) Which is the best phrase to put in(②)? ア only after reading the long rules イ in one second, without reading anything ウ when the teacher explains them every day エ if you study the environment for years	()
問3(15点) Which is the best sentence to put in(③)? ア Let's take away all the trash boxes from the classroom. イ Let's tell them not to throw trash when they leave. ウ Let's ask the teachers to check the boxes every hour. エ Then let's move the recycling box next to the door, too.	()
問4(15点) Which is the best word to put in(④)? ア new system イ old rules ウ test scores エ weather	()
問5(20点) Rin says, " <u>I can't wait to see the next numbers.</u> " What does she want to know? ア How many students will join the committee next year. イ Whether the paper trash will become smaller after the change. ウ How much the new boxes will cost. エ When the morning meeting will start.	()
問6(20点) According to the dialogue, which is true? ア About forty percent of the trash in the classrooms was recyclable paper. イ The students did not sort trash because they did not care about the environment. ウ The recycling boxes will be ready two weeks after Friday. エ Ms. Mori told the two students to stop the project.	()

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえ
た問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
ウ	イ	エ	ア	イ	ア	／100

問1 正解 **ウ**(15点) | At first, I thought ~ のあとは「考えが変わる」流れ

根拠 直前＝「最初は、環境に関心がないのだと思った」。直後＝「ほとんどの生徒は『分別が難しい』と言った」——思いこみとちがう答えが返ってきた、という橋が必要。But when I asked(でも聞いてみると)が唯一つながる。

誤答の切り方

ア	「その考えは正しかった」なら、直後の『関心はあるが難しい』という答えと矛盾する。
イ	「聞くのをやめた」のに、直後で生徒たちの答えを紹介するのはおかしい。
ウ	思いこみ→実際に聞く→ちがう理由が判明。前後両側に橋がかかる。
エ	「誰も答えなかった」のに Most of them said と続くのは矛盾。

 この形式のコツ At first, I thought ~ (最初は～だと思った)を見たら、後ろに「考えが変わるきっかけ」(But / However / Then I found)が来ると予想する。予想→照合の順で適文は速くなる。

問2 正解 **イ**(15点) | 提案のせりふは「解決したい問題」の逆を言う

根拠 解決したい問題＝「分別が難しい・どの箱か分からない」。リンの提案は「大きな絵をつける」——絵の力は、読まなくても一瞬で分かること。「1秒で、何も読まずに分かる」が提案の目的そのもの。

誤答の切り方

ア	「長いルールを読んだあとで」では、難しさが残る。問題が解決しない。
イ	絵の提案の目的(読まずに一瞬で分かる)と一致。
ウ	「先生が毎日説明すれば」は絵の意味がなくなる。
エ	「何年も勉強すれば」は真逆。誰でもすぐ、が狙い。

 この形式のコツ 提案の空所は「この提案はどの問題を解決するためか」を先に確認する。問題(難しい)の逆(かんたん・一瞬)を言う選択肢が正解になる。

問3 正解 **エ**(15点) | 直後の文が「その提案の効果」になっているかを見る

根拠 直前＝「みんなドアを出るときに捨てるから、ドアの近くの箱に全部入る」。直後＝「そうすれば余分に歩かずに分別できる」。この効果が出る提案は「リサイクル箱もドアの横に動かす」だけ。

誤答の切り方

ア	箱を全部なくしたら、ごみの行き場がなくなる。
イ	「捨てるなど言う」のは行動を変えさせる押しつけ——2人の方針(かんたんにする)と逆。
ウ	先生が毎時間チェックする案は「余分に歩かない」という直後の効果と無関係。
エ	「ドアの近くで捨てる」という事実を利用した移動案。直後の効果と完全に一致。

🔑 この形式のコツ 適文の直後に Then / So で「効果」が書かれているときは、効果から提案を逆算する。効果が出ない選択肢は、内容がまともでも×。

問4 正解 **ア**(15点) | 適語は「説明する目的語」を文脈から選ぶ

根拠 朝の集会で3分もらって「新しい箱のこと」を説明したい——みんなが知るべきものは、絵つきの箱と置き場所という new system(新しいしくみ)。「初日から機能する」という続きとも合う。

誤答の切り方

ア	説明したいのは、これから始める新しいしくみ。
イ	old rules(古いルール)を知らせても新しい箱は使われない。
ウ	テストの点数は無関係。
エ	天気も無関係。

🔑 この形式のコツ explain / know の目的語の空所は、「この会話で作ってきたもの」を指す語を選ぶ。会話全体の流れが1語に集まる——最後の適語は総まとめ問題でもある。

問5 正解 イ(20点) | 「次の数字」が何の数字かは、直前の計画にある

根拠 ダイキの計画＝「2週間後にもう一度箱を調べて、数字がどう変わるか報告する」。森先生も「紙ごみが本当に減ったら…」と続けた。リンが待っているのは、変化後の紙ごみの数字。

誤答の切り方

ア	来年の委員の人数の話はない。
イ	「2週間後に再調査→数字の変化」という直前の計画そのまま。
ウ	費用の話は出てこない。
エ	集会は説明の場で、「数字」ではない。

🔑 この形式のコツ セリふの中の名詞(numbers)が何を指すかは、その語が前に出た場面にもどる(最初の調査40%→2週間後の再調査)。数字は必ず「比べる相手」とセットで出る。

問6 正解 ア(20点) | 内容一致は「数字→理由→予定」の順で照合

根拠 リンの最初の報告 About forty percent of the trash was paper that we can recycle. と一致。

誤答の切り方

ア	リンの報告そのまま。
イ	「関心がないから」は最初の思いこみで、実際の理由は「分別が難しい」——会話の中で否定された内容。
ウ	金曜までに箱を準備し、「その2週間後」は再調査の日。予定のすり替え。
エ	先生は集会の時間を取りつくと約束した——応援している。

🔑 この形式のコツ 対話の中で一度否定された内容(最初の思いこみ)は、内容一致の定番ワナ。「At first ～ → But …」の At first 側を選ばせにくる。

会話の設計図(流れメモ)——復習は「場面の流れ」を自分の言葉で言い直すのが最短

①	調査報告＝教室のごみの約40%がリサイクルできる紙だった
②	原因さがし＝「関心がない」ではなく「分別が難しい」(聞いて分かった本当の理由)
③	解決策1＝絵つきの箱(読まずに一瞬で分かる)
④	解決策2＝リサイクル箱をドアの横へ(余分に歩かせない)＋朝の集会で説明
⑤	計画＝金曜までに設置→2週間後に再調査。「次の数字」を待つ

もう一段のぼる 「問題→本当の原因→かんたんにする解決」という流れは、大阪Cの会話文の頻出構造。No.2(修学旅行のプラン)は、時間の制約の中で意見をまとめる「交渉」の会話だ。

先生向け・運用ノート 自校作成・難関校向け(会話約430語)。委員会活動と直結する題材で、生徒会・環境教育の導入にも使える。「Easy actions continue.」は掲示標語にもなる。配点は問1～4各15点・問5～6各20点。